

たくさんのご寄付ありがとうございます

ご寄付ありがとうございます。

- ・牧寄 清一様
- ・写友会「楽」様
- ・写団翔 代表 佐藤 真弘様
- ・鳴原 博美様
- ・花村 まゆみ様
- ・佐藤 勝広様
- ・三浦 久仁夫様
- ・下村 邦子様
- ・豊明福社会賛助会様
- ・匿名の方

皆様からいただきましたご寄付は
大切に使わせていただきます。

ダンボールコンポスト販売中！

みなさんはダンボールコンポストをご存じでしょうか？
ご家庭の生ごみ減量と堆肥製造が行える、
環境にやさしい取り組みです！

【販売内容】

①ダンボールコンポスト基材……800円

- ・基材 15L (ピートモス・もみ殻燻炭混合)
- ・マニュアル



②ダンボールコンポスト……1,000円

スターターセット

- ・基材 15L (ピートモス・もみ殻燻炭混合)
- ・ダンボール
- ・新聞紙
- ・中敷き用段ボール
- ・マニュアル



豊明市環境課に申請すると半額補助が受けられます

※豊明市在住の個人に限る

【販売場所】 豊明福社会メイツ

〒470-1101
豊明市沓掛町中川 81-2
TEL : 0562-91-1890
OPEN 8:30 / CLOSE 17:30
担当：辻



豊明福社会事業所一覧

生活介護事業所メイツ
メイツ日中一時支援事業所
0562-91-1890

ファイン相談支援事業所
0562-85-5070

児童デイサービスふあーもにー
一日中一時支援事業所フレンズ
080-2441-9390

就労継続支援B型事業所あびっと
0562-85-5080

生活介護事業所フレンズ
0562-85-2033

えみふるの家沓掛
沓掛AB 080-2601-9589
沓掛CD 080-2305-7067

みさき館
0562-95-0362

ファインホームヘルプ事業所
0562-85-5081

豊明市児童発達支援センター
どんぐり
0562-85-6661

発行日：令和6年1月5日

発行者：社会福祉法人 豊明福社会

住 所：豊明市沓掛町中川 81-2

電 話：0562-85-1491

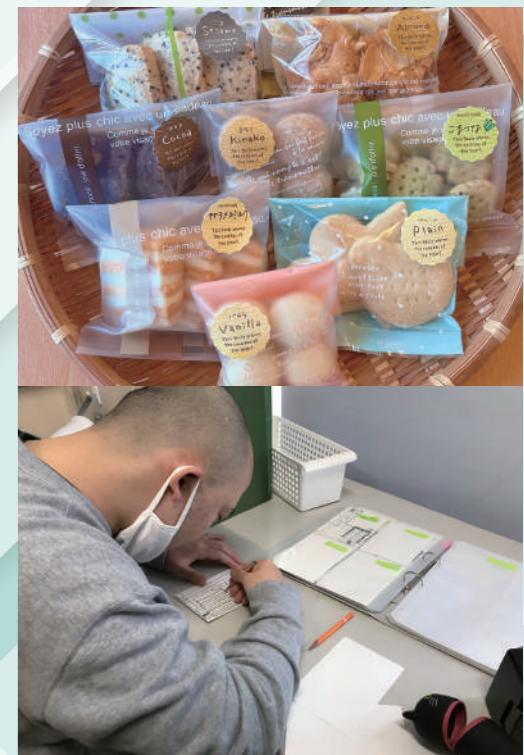
U R L : <https://toyofuku.info/>

ぴーぶる

全国に届け！

箱詰めクッキー＆トートバッグ

NO. 69



CONTENTS

- ・新年のご挨拶
- ・法人HPとメイツのECサイトがリンク
- ・SDGs研修会の報告
- ・権利擁護研修報告
～ひびこれよきひ～
- ・事業所報告「日々是好日」
- ・「どんぐり」療育支援における
専門職の働き
- ・つながりんく

新年のご挨拶



社会福祉法人 豊明福祉会
理事長 石川 順一

皆さま 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

昨年までは、新型コロナウイルスの流行に振り回されて、多くの事業所でその対応にてんやわんやの状態でした。ようやく新型コロナも落ち着いた状況になり、各事業所では、かつての活動を復活できるようになってきました。新型コロナ禍で学んだ事を生かして、前よりも効果的な支援に取り組んでいけるようにしたいと考えています。

年が明けまして令和6年は、グループホーム「えみふるの家」のすべての棟の入居を行いたいと思っています。また、みさき館からの移転も行う予定です。定員20名のグループホームを運営して、順調に進めば、次のステップを目指していきたいと考えています。

また、各事業所では、利用者の方への安定した支援を行えるよう環境整備していきたいと考えています。

法人としても令和6年は、利用者の皆様に安心して過ごしていただけることを目指して、職員一同努力してまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

いつもお世話になっています皆さまにとりましても、令和6年が良い年となりますよう祈念申し上げまして新年のあいさつとさせていただきます。

今年もよろしくお願ひいたします。

法人HPとメイツのECサイトがリンク!



オンラインショップ

メイツでは、「お菓子の森ルミエール」の箱詰めクッキーと、絵や文字など皆さんの個性あふれる表現を活用したトートバッグをECサイトで販売しています。全国各地の方からご注文を頂き、メイツの商品をより多くの方々にお届けできることを嬉しく思います。“遠くに住む親戚にお菓子を贈りたい”と思ったときなどにも、ぜひご活用ください。

そんなECサイトに、法人HPからアクセスできるようになりました。アクセスしやすくなったことで、さらにメイツや豊明福祉会を知ってもらうきっかけになったらいいなと思います。



SDGs研修会の報告

SUSTAINABLE GOALS



令和5年9月11日に法人職員の主任以上でSDGsについての研修会を行いました。講師は愛知県知的障害者福祉協会の研修委員副委員長で2030SDGs公認ファシリテーターをお務めになる藤田幸樹様にお願いしました。

SDGsは「誰一人取り残さない」をキーワードに2015年に国連サミットで採択された、2030年を期限とする世界共通の17の持続可能な開発目標です。

研修は『2030SDGs』というカードゲームを使って行いました。このゲームでは『富』、『時間』、『環境や社会問題の解決』など大切にしている価値観や目標がそれぞれ異なる参加者で構成される世界で、個人の目標を達成しながらどのように持続可能な世界を実現していくかを体験するゲームと、その後の振り返りの2部制で進行しました。『環境・社会・経済の3領域の関係』、『人間の行動や選択その影響により変化する世界の状況』、『SDGsで扱われる課題と自分との繋がり』などの学びがありました。

参加者からは「他の法人の取り組みなど知りたい」、「自法人や事業所で既にSDGsに繋がる取り組みが認識出来た」など、この先の取り組みについての意見が聞かれ、個人や法人としてSDGsを我が事として捉える意識が感じられる大変良い機会となりました。

令和5年度権利擁護研修報告

令和4年度より虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会を各事業で設置することが義務付けられ、当法人も体制整備に努めて参りました。この2つの委員会の規程には「虐待防止及び身体拘束適正化に係る研修の開催」が明記されており、今回ご報告させていただく研修は、この委員会の規程に基づき法人全体研修として開催されました。



総勢67名の職員が参加しました。この内、勤続年数が3年未満の職員が半数を占めており職員の入れ替わりが進んでいることが分かるかと思います。経験の浅い職員でも分かりやすく虐待防止を学べるように、今回は、“支援現場で起こりうる虐待あるある”というテーマを決めました。愛知県知的障害者福祉協会、権利擁護委員会で副委員長をされている中上様にお越しいただき分かりやすく虐待についての基礎知識をご講義いただきました。

講義後は、研修参加者同士でグループワークを行いました。

虐待報告件数は、年々上昇しています。これまで見過ごされていた虐待事案が、虐待防止の意識の向上などにより表面化し、上昇しているものと考えられます。今回のような研修を通し、職員の虐待に対する「感度」を上げることで不適切な支援を振り返り、虐待防止に繋がることを願っています。